

株主のみなさまへ

 ハウス食品

第67期 営業のご報告

2012年4月1日～2013年3月31日

# HOUSE FOODS REPORT

ANNIVERSARY  
  






取締役社長 浦上 博史

## 企 業 理 念

食を通じて、  
家庭の幸せに役立つ

## コーポレートメッセージ

おいしさとやすらぎを

株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2013年3月期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

**海外事業は着実に事業拡大したものの、国内コア事業が震災特需の想定以上の反動の影響を受けるなど、全体では減収減益となりました。**

当連結会計年度における経営環境は、年度末にかけて、新政権の政策の打ち出しが好感され、過度な円高の修正、株式市場の活況など、景気持ち直しへの期待感が膨らんでまいりました。

一方で、内需型の食品業界においては、未だ景気回復の実感が乏しい状況であり、長期化したデフレ傾向反転の兆しは見え、円高修正による原包材・燃料コストの上昇懸念が高まるなど、予断を許さない経営環境となっております。

このような環境のなか、当社グループは“食を通じて、家庭の幸せに役立つ”という理念のもと、当連結会計年度より第四次中期計画を開始し、各事業における成長戦略の実現に向けた取組を進めております。

その初年度となる当期、国内の2つのコア事業である香辛・調味加工食品事業、健康食品事業が、震災特需の想定以上の反動や、お客さまの食生活パターンの変化による影響などにより、売上が大きく下回ったことに加え、競争激化による売価下落圧力からマーケティングコストが増加したこともあり、厳しい業績となりました。一方、コア育成事業の海外事業は、米国豆腐事業、中国カレー事業を中心に着実に成長が図れており、特に中国カレー事業が通期で黒字転換するなど、収益面でも貢献してきております。

以上により、当連結会計年度の連結売上高は2,097億84百万円、前期比2.1%の減収、連結営業利益は114億41百万円、前期比18.6%の減益、連結経常利益は134億45百万円、前期比13.3%の減益、連結当期純利益は、特別損失が大幅に減少しましたことから82億54百万円、前期比4.1%の増益となりました。

**期末配当は1株当たり15円、年間では2円増配の30円とし、併せて自己株式の取得・消却を実施いたしました。**

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要なテーマの一つと位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに、業績・事業計画などを総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を基準とした安定的な配当を継続することを基本方針としております。

当期末の配当につきましては、同基準も勘案し、1株当たり15円とし、中間配当の15円（前中間期比+2円）と合わせて、年間では1株当たり30円（前期比+2円）とさせていただきます。

また、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主還元の一環として、当期に100万株の自己株式を取得のうえ、消却を実施いたしました。

**創業100周年の節目の年を「変革」の年と位置付け、各事業の成長とグループ全体の企業価値の向上をめざしてまいります。**

2014年3月期においては、国内市場の縮小や円安による原包材・燃料価格の上昇が見込まれるほか、消費者ニーズの多様化が進んでおり、当社グループを取り巻く環境は依然不透明な状況が続くものと思われます。

このような環境下で、当社は2012年4月よりスタートした第

四次中期計画で掲げる「国内コア事業の成長と収益力強化および海外コア育成事業の展開加速」「成長・拡大していくための最適な組織体制の構築」「開発力・コスト競争力の強化推進」に向けた取組をさらに推進してまいります。

また、当社は本年11月に創業100周年を迎えます。この節目の年を「変革」の年と位置付け、そのための取組の一つとして、当社グループは、本年10月1日をもって持株会社体制に移行する予定であります。これにより、各事業がそれぞれの価値創造力を高め、グループ全体の企業価値の向上をめざした経営体制を構築してまいります。

2014年3月期の業績につきましては、連結売上高は2,330億円（前期比11.1%増）、連結営業利益は125億円（前期比9.3%増）、連結経常利益は140億円（前期比4.1%増）、連結当期純利益は88億円（前期比6.6%増）を予定しております。

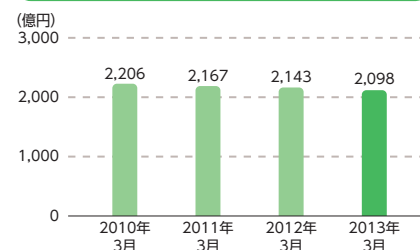
創業100周年を迎えることができますのも、ひとえに株主のみなさまをはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。なお、株主のみなさまに感謝の意を表するため、2014年3月期の期末配当において、1株につき5円の記念配当を実施させていただく予定であります。

当社グループは、お客さまに役立つ価値を提供し続け、“新価値創造、健康とおいしさ発信企業”の実現に向けた取組をより一層進めてまいります。

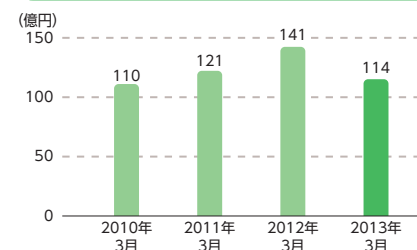
株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

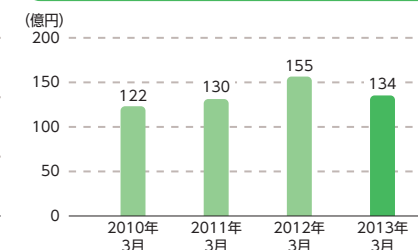
## 連結売上高



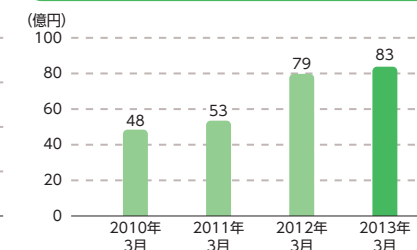
## 連結営業利益



## 連結経常利益



## 連結当期純利益



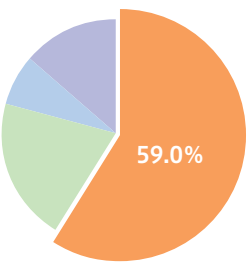


香辛・調味加工食品事業

香辛・調味加工食品事業は、震災特需の反動を受けたことに加え、メニュー間競争、デフレ環境下での価格競争の激化などにより、全体では軟調な結果となりました。このような市場環境を受け、ルウカレー、ルウシチュー製品は、当期「こくまるカレー」のフレッシュアップ、「コクの贅沢シチュー」の新発売により低価格帯製品ポジションを強化し、来期に向けて価格帯別のフルライン戦略を強化する体制を整備いたしました。また、スパイス製品はパンの新しい食べ方を提案したシーズニングスパイス「パパン」が売上に寄与し、底堅く推移しました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は1,238億75百万円、前期比4.2%の減収となりました。利益面では、主力製品群の苦戦や販売促進費率の上昇などから、営業利益は81億57百万円、前期比17.9%の減益となりました。

<売上高構成比>

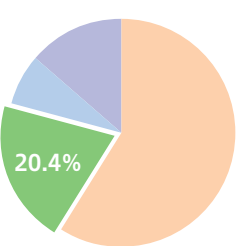


健康食品事業

健康食品事業では、「ウコンの力」シリーズがお客さまのお酒への接し方の変化や競合製品との販売競争の影響を受け、また「C1000」シリーズは、震災後の需要増の反動の影響が大きく、共に苦戦を強いられました。一方、育成ブランドとして注力している「メガシャキ」は、積極的なマーケティング展開による購買層の拡大や、「メガシャキガム」発売によるブランド相乗効果の高まりから、売上は伸長しております。

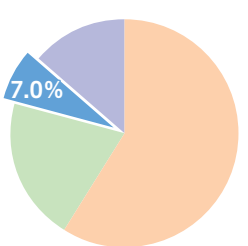
以上の結果、健康食品事業の売上高は427億66百万円、前期比7.0%の減収となりました。利益面では、主力ブランドにおける減収などが影響し、営業利益は19億3百万円、前期比24.8%の減益となりました。

<売上高構成比>



海外事業

<売上高構成比>



第四次中期計画においては、海外事業をコア育成事業と位置付け、3つのエリア(米国・中国・東南アジア)ごとに独立した事業推進体制を整備し、事業展開をより加速させるべく取組を進めております。

米国の豆腐事業は、積極的なプロモーション活動が奏功したことなどにより、増収となりましたが、大豆価格高騰の影響などから減益となりました。

中国のカレー事業は、継続的な市場開拓、啓発活動により、家庭用、業務用ともに日本式カレーの認知拡大が進み、増収となりました。利益面でも増収効果に加え、販売促進費の効果的な運用を進めたことなどにより、通期で初めて黒字化を達成いたしました。

東南アジアでは、タイにおいて、前年7月に機能性飲料製品を発売し、コンビニエンスストアを中心に取扱拡大が進んでおります。なお、ベトナムにおいては、本年4月に加工食品製造工場が稼働し、新たな需要創造の取組を開始いたします。

カレーレストラン事業は、中国・台湾・韓国エリアを中心に店舗拡大を進め、売上、利益とも大幅に伸長いたしました。

以上の結果、海外事業の売上高は147億円、前期比25.0%の増収、営業利益は6億77百万円、前期比3.9%の増益となりました。



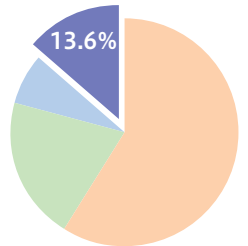
運送事業他

グループ会社ハウス物流サービス(株)の運送・倉庫事業は、グループ外企業の物流業務の受託拡大が進んだ結果、増収となりましたが、燃料費や僱車費

の増加などの影響から減益となりました。また、コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営むグループ会社(株)デリカシェフは、デザート類の売上が好調だったことに加え、継続したロス削減活動による材料費率の低下などもあり、増収増益となりました。

以上の結果、運送事業他の売上高は284億43百万円、前期比4.1%の増収、営業利益は7億1百万円、前期比25.0%の減益となりました。

<売上高構成比>



○事業セグメント別 連結売上高・連結営業利益

単位:百万円

事業セグメント	連結売上高	連結営業利益
香辛・調味加工食品事業	123,875 (95.8)	8,157 (82.1)
健康食品事業	42,766 (93.0)	1,903 (75.2)
海外事業	14,700 (125.0)	677 (103.9)
運送事業他	28,443 (104.1)	701 (75.0)

( )内は前期比%

## 年間トピックス

ハウス食品グループは持株会社体制へ  
～グループ全体の企業価値向上をめざす経営体制～

2012年4月よりスタートした第四次中期計画で掲げる「成長拡大していくための連結経営に最適な組織体制を構築する」という考え方にに基づき、各事業会社が最適な経営体制で成長戦略を立案、実行することにより価値創造力を高め、各事業の成長およびグループ全体の企業価値を向上させるため、本年10月1日より持株会社体制へ移行することといたしました。

## 移行の方法と移行後の体制

当社が行っておりますルウ、スパイス製品などを扱う香辛・調味加工食品事業は『ハウス食品分割準備(株)』に、「ウコンの力」などを扱う健康食品事業は『ハウスウェルネスフーズ(株)』に、それぞれ分割承継いたします。当社は純粋持株会社となり、引き続き上場を維持します。

この度の組織変革により、現在の開発・営業・生産といった「機能本位の体制」から「事業本位の体制」に移行し、国内の成熟化した市場の中で各事業が各々成長力を高めるとともに、海外事業の推進体制を強化していくことで、グループトータルの企業力を向上させてまいります。

(注1) 当社100%出資の分割準備会社として、2013年4月22日に設立。

## ● 持株会社体制移行の目的

## 1. グループ経営戦略機能の強化

持株会社は、全体最適の視点で、グループ経営戦略の企画・立案を行います。

## 2. 各事業の価値創造力の強化

各事業については、グループ経営戦略に基づき、経営意思決定の迅速化による機動的かつ効率的な事業運営により、価値創造力の強化を推進します。

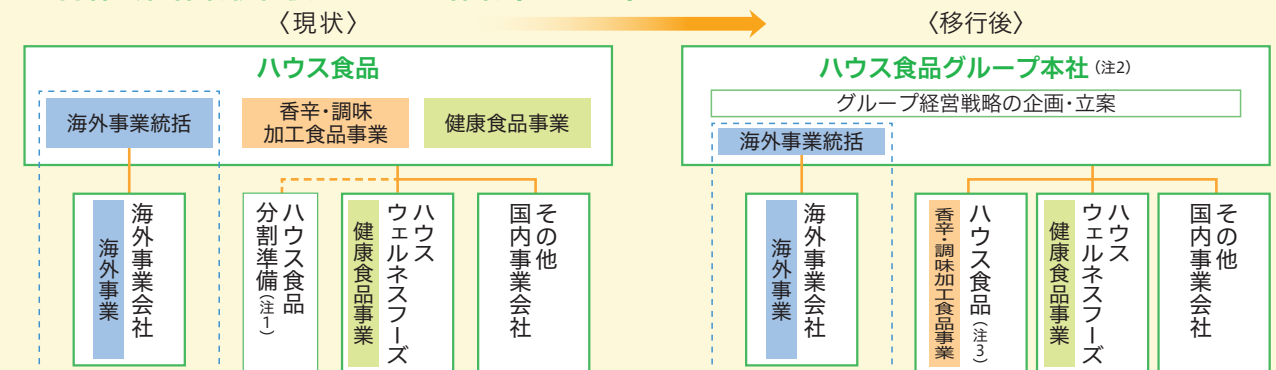
## 3. 新事業領域開発・育成力の強化

持株会社は、新事業領域の開発および新事業の育成に注力し、各事業子会社との役割分担を行います。また、グループ経営資源の戦略的配分を行います。

## 4. グループシナジーの発揮

持株会社主導のもと、当社グループが保有する経営資源を横断的・効率的に活用することにより、グループシナジーを発揮します。

## ● 持株会社体制移行後のグループ体制(イメージ)



(注2) 2013年10月1日付で、『ハウス食品株式会社』から『ハウス食品グループ本社株式会社』に商号変更予定。

(注3) 2013年10月1日付で、『ハウス食品分割準備株式会社』から『ハウス食品株式会社』に商号変更予定。



# 「バーモントカレー」誕生50周年！ ～ボクたちみんな、バーモント育ち～



「バーモントカレー」は1963(昭和38)年の発売以来、変わらぬおいしさでみなさまに愛され、“国民食”カレーにおけるトップブランドとして支持され続けてまいりました。

## “誕生ストーリー”

“子どもと一緒に食べられるカレーをつくりたい”。当時、カレーといえば辛い“おとなの食べもの”でした。このカレーを、子どもも大人も一緒においしく食べられるようにしたい、そうした願いから生まれたのが「バーモントカレー」です。試行錯誤の末、アメリカ北東部のバーモント州に伝わる健康法をヒントに、当時の常識を覆す“りんごとはちみつが入ったマイルドなカレー”が誕生しました。

発売当初こそ、「甘いカレーが本当に売れるのか」との声もありましたが、印象的なコマーシャルや地道な試食宣伝活動などにより、初年度から生産が追いつかないほどの爆発的なヒット商品となりました。



## “お客さまに必要とされ続けるために”

いつの時代も“お客さまにとって安心できる、変わらぬおいしさ”であり続けるため、「バーモントカレー」は発売以来、味覚や製法の改良を重ねてまいりました。また、より多くのお客さまにご支持いただくため、おいしさはそのままにカロリーを低減した「プライムカレー」などのシリーズ製品を発売し、中国においても日本式カレーの認知拡大を図るため、中国版バーモントカレー「百夢多咖喱」を発売しています。

### 西城秀樹さんからのメッセージ

#### 『バーモントカレーと私』

当時のCM人気調査で何年かにわたり1位をとり続けたり、「ヒデキ、感激!」というキャッチフレーズが今もたくさんの人の記憶に残っていることなど、僕にとって忘れられない仕事のひとつです。そして、今も売り上げNO.1のカレーであることは、仕事を続けるうえで、僕の励みにもなっています。



2012年度は園児総数の約1割に当たる約50万人の園児がチャレンジしました。

## “はじめて”作ったカレーはバーモント！

食育への取組

当社は、子どもたちがバーモントカレーを使ったカレー作りを体験する「はじめてクッキング」教室を1996年から全国の幼稚園、保育園で開催しています。今年で18年目を迎えるこの活動は延べ約495万人の園児が参加し、毎年多くの子どもたちが初めてのカレー作りにチャレンジしています。

食材を切ったり煮込んだり、子どもたちは初めてのカレー作りに夢中！そうして完成したバーモントカレーに「おいしい!」の笑顔が溢れます。

当社は、「はじめてクッキング」教室を通じて、食べることの大切さ、つくる楽しさを伝え、子どもたちの健やかな成長を応援しています。

※「はじめてクッキング」は、2006年度、「地域に根ざした食育コンクール」(農林水産省提唱・(社)農林漁村文化協会主催・内閣府/文部科学省/厚生労働省後援)で「特別賞・審査委員会奨励賞」を受賞しています。

# 国内累計販売量は144万5千ト、約690億皿分！

(2013年3月末現在)

## パッケージを横に並べると、 地球約30周分に！



※238g入りパッケージで換算



連結貸借対照表

単位:百万円

	当 期 (2013年3月31日現在)	前 期 (2012年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	107,135	110,165
固定資産	143,645	129,927
有形固定資産	56,112	53,553
無形固定資産	1,787	2,467
投資その他の資産	85,746	73,908
資産合計	250,780	240,092

負債の部		
流動負債	39,515	41,108
固定負債	11,938	9,742
負債合計	51,452	50,850

純資産の部		
株主資本	188,963	185,205
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	155,148	151,392
自己株式	△ 1	△ 4
その他の包括利益累計額	9,768	3,580
その他有価証券評価差額金	10,840	5,531
為替換算調整勘定	△ 1,072	△ 1,950
少数株主持分	596	456
純資産合計	199,328	189,242
負債純資産合計	250,780	240,092

連結損益計算書

単位:百万円

	当 期 (2012年 4月～ 2013年 3月)	前 期 (2011年 4月～ 2012年 3月)
売上高	209,784	214,317
売上原価	114,468	115,974
売上総利益	95,315	98,342
販売費及び一般管理費	83,874	84,289
営業利益	11,441	14,053
営業外収益	2,096	1,596
営業外費用	92	147
経常利益	13,445	15,502
特別利益	49	304
特別損失	256	2,920
税金等調整前当期純利益	13,238	12,886
法人税等	4,999	4,969
少数株主損失 (△)	△ 16	△ 11
当期純利益	8,254	7,928

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当 期 (2012年 4月～ 2013年 3月)	前 期 (2011年 4月～ 2012年 3月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	12,884 (5,020)	17,098 (5,356)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,841	△ 19,069
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 4,943 (△ 3,186)	△ 2,836 (△ 2,567)
現金及び現金同等物に係る換算差額	424	△ 94
現金及び現金同等物の増減額	6,525	△ 4,901
現金及び現金同等物の期首残高	41,190	46,091
現金及び現金同等物の期末残高	47,715	41,190

貸借対照表

単位:百万円

	当 期 (2013年3月31日現在)	前 期 (2012年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	92,178	94,901
固定資産	159,256	147,641
有形固定資産	30,521	30,339
無形固定資産	711	1,186
投資その他の資産	128,024	116,116
資産合計	251,434	242,542

負債の部		
流動負債	39,404	41,956
固定負債	6,221	3,647
負債合計	45,625	45,603

純資産の部		
株主資本	194,943	191,344
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,815	23,815
利益剰余金	161,180	157,584
自己株式	△ 1	△ 4
評価・換算差額等	10,867	5,595
その他有価証券評価差額金	10,867	5,595
純資産合計	205,809	196,939
負債純資産合計	251,434	242,542

損益計算書

単位:百万円

	当 期 (2012年 4月～ 2013年 3月)	前 期 (2011年 4月～ 2012年 3月)
売上高	144,748	151,803
売上原価	69,599	73,866
売上総利益	75,149	77,937
販売費及び一般管理費	65,219	66,241
営業利益	9,930	11,696
営業外収益	3,498	2,841
営業外費用	287	202
経常利益	13,141	14,334
特別利益	30	282
特別損失	1,040	2,414
税引前当期純利益	12,131	12,203
法人税等	4,037	4,319
当期純利益	8,095	7,884



## メガシャキガム

「メガシャキ」からガムが新発売！



シャキッとリフレッシュできる炭酸飲料「メガシャキ」から、“スパイスの刺激感”と“シュワッとはじけるパウダーの爽快感”、“噛みごたえたっぷりのメガサイズ”の3つの特徴が新しい「メガシャキガム」を新発売しました。仕事やドライブ、勉強など、眠くなりがちな頑張り時をシャキッと乗り切ることができます。

〈濃厚クリーム味〉



ルウで作るルウスパ！  
スープスパゲッティの素

炒めて軽く煮込むだけ！  
麺にしっかり絡む濃厚ソースが  
決め手の本格  
スープスパゲッティ！

ご家庭ではなかなか作れない  
スープスパゲッティが、身近な素  
材で簡単にお作りいただけるルウタイプのスー  
プスパゲッティソースの素です。しっかりとした  
旨みとインパクトのある香りが特徴の〈濃厚ク  
リーム味〉〈濃厚トマト味〉をお届けします。



〈濃厚トマト味〉

## ザ・ホテル・カレー

専門店の味わいをご家庭で。  
「ザ・ホテル・カレー」にルウタイプが新発売！

〈濃厚仕立て〉



〈ワインソース仕立て〉



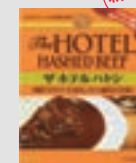
ホテルで食べるような上質なカレーを  
ご家庭でお楽しみいただける、ちょっと至  
福な気分を味わえる欧風カレーです。

ブラウンルウと乳製品が織りなす奥深  
いコクが特徴の〈濃厚仕立て〉と、特製赤ウ  
インソースの奥深い香りが特徴の〈ワイン  
ソース仕立て〉、2つの風味をご用意しま  
した。

### The HOTEL (レトルト) シリーズ

“伝統あるホテルの味わい”を  
より手軽にお楽しみいただけます

〈芳潤ワイン仕立て〉〈芳香スパイス仕立て〉〈ハヤシ〉 **新発売**



## ベトナム事業スタート！ 東南アジアでの事業基盤拡充をめざす！

第四次中期計画においては、海外事業をコア育成事業と位置付け、3つのエリア(米国・中国・東南アジア)ごとに独立した事業推進体制を整備し、事業展開をより加速させるべく取組を進めております。前期より本格的に事業をスタートさせた東南アジアでの活動をご紹介します。

### タイに続いてベトナムでも事業スタート！

タイにおいては、ハウスオソサファーズ(株)が昨年7月に機能性飲料「C-vitt(シービット)」を発売し、順調に取扱いを拡大しておりますが、ベトナムでも本年4月、ハウスフーズベトナム(有)の工場が稼働し、事業を開始いたしました。

国民の平均年齢が27.4歳と非常に若いベトナムは、将来の大きな成長が期待されるマーケットであり、当社では①働くお母さんと子どもたちの市場 ②購買意欲の高い20代女性の市場をターゲットに事業展開を計画しています。本年5月には、簡単においしいデザートを作る「House PurinMix(ハウス プリンミクス)」「House Sherbic(ハウス シャービック)」を、その後はビタミンやコラーゲンなどの美容素材を手軽にとれる粉末機能性飲料「Fruity Vita(フルーティ ビタ)」をベトナムのみなさまにご提供してまいります。

### 東南アジアでの事業基盤を構築

東南アジアにおける事業基盤を早期に構築するため、当社は本年4月、シンガポールにアセアンセンターを設立いたしました。アセアンセンターはタイ・ベトナムでの事業を統括するほか、当社が培った技術・ノウハウと現地ニーズを高レベルで融合させ、東南アジア諸国へのビジネス拡大を進めてまいります。

### ハウスフーズベトナム(有)

「Fruity Vita  
(フルーティビタ)」



「House PurinMix  
(ハウスプリンミクス)」

「House Sherbic  
(ハウスシャービック)」



アマタ工場外観

### ハウスオソサファーズ(株)

「C-vitt(シービット)」



〈ビタミンレモン〉〈ビタミンオレンジ〉

シンガポール

アセアンセンター

会社概要

(2013年3月31日現在)

- ◆創業年月日 1913年11月11日
- ◆設立年月日 1947年6月7日
- ◆資本金 9,948,323,523円
- ◆事業内容 食品製造加工ならびに販売、その他
- ◆従業員数 1,997名
- ◆所在地 大阪本社／〒577-8520  
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
TEL 06-6788-1231 (大代表)  
  
東京本社／〒102-8560  
東京都千代田区紀尾井町6番3号  
TEL 03-3264-1231 (大代表)

役員

(2013年6月26日現在)

- |             |   |        |  |
|-------------|---|--------|--|
| 代表取締役会長     | 小 瀬 昉   | 常務執行役員 | 藤 村 浩 史<br>野 村 孝 志<br>久 住 喜代晴<br>西 田 太   |
| 代表取締役社長     | 浦 上 博 史   |        |  |
| 代表取締役専務執行役員 | 松 本 恵 司   | 執行役員   | 一 柳 和 文<br>青 山 元 竜<br>坂 原 弘 一<br>柴 原 章<br>小 池 敬 文<br>高 木 浩<br>谷 口 浩<br>村 田 竜比登 |
| 取締役専務執行役員   | 井 上 始<br>広 浦 康 勝                                    |        |  |
| 取締役常務執行役員   | 藤 井 豊 明<br>工 東 正 彦<br>田 口 昌 男                       |        |  |
| 取締役         | 山 本 邦 克   |        |  |
| 監査役         | 伊 藤 研 三<br>加 藤 智 一<br>由 本 泰 正<br>仁 瓶 眞 平<br>進 藤 大 二 |        |  |

株式の状況

(2013年3月31日現在)

- 発行済株式総数 105,761,763株
- 発行可能株式総数 391,500,000株
- 株主総数 58,455名
- 1単元の株式数 100株

《2013年3月期配当金》

	1株当たり配当金
第2四半期末	15円 (前期比+2円)
期 末	15円 (前期比±0円)
年 間	30円 (前期比+2円)

大株主

(2013年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ハウス興産株式会社	12,585,616	11.90
株式会社HKL	6,400,000	6.05
株式会社三井住友銀行	3,668,027	3.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,876,400	2.72
公益財団法人浦上食品・食文化振興財団	2,872,200	2.72
味の素株式会社	2,693,543	2.55
日清食品ホールディングス株式会社	2,463,400	2.33
浦上 節子	2,325,569	2.20
日本生命保険相互会社	2,306,010	2.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,074,600	1.96

(注)持株比率は、自己株式(972株)を控除して算出しております。

グループ会社

(2013年3月31日現在)

- |                                |             |                            |
|--------------------------------|-------------|----------------------------|
| 連結子会社 (22社)                    | ●国内会社 ●海外会社 | 持分法適用関連会社 (6社) ●国内会社 ●海外会社 |
| ●株式会社デリカシェフ                    |             | ●株式会社壺番屋                   |
| ●サンハウス食品株式会社                   |             | ●株式会社ヴォークス・トレーディング         |
| ●ハウスウェルネスフーズ株式会社               |             | ●サンヨー缶詰株式会社                |
| ●ハウス物流サービス株式会社                 |             | ●イチバンヤ USA Inc.            |
| ●株式会社ハウス食品分析<br>テクノサービス        |             | ●壺番屋香港有限公司                 |
| ●ハウスあいファクトリー株式会社               |             | ●株式会社ジャワアグリテック             |
| ●サンサプライ株式会社                    |             |                            |
| ●株式会社堀江大和屋                     |             |                            |
| ●ハイネット株式会社                     |             |                            |
| ●朝岡スパイス株式会社                    |             |                            |
| ●ハウスビジネスパートナーズ株式会社             |             |                            |
| ●ハウスフーズホールディング USA Inc.        |             |                            |
| ●ハウスフーズアメリカ Corp.              |             |                            |
| ●エルブリトーメキシカンフード<br>プロダクト Corp. |             |                            |
| ●上海ハウス食品有限公司                   |             |                            |
| ●大連堀江大和屋食品有限公司                 |             |                            |
| ●上海ハウスカレーココ壺番屋レストラン<br>有限公司    |             |                            |
| ●ハウス食品(上海)商貿有限公司               |             |                            |
| ●ハウスフーズベトナム有限公司                |             |                            |
| ●ハウスオソサファフーズ株式会社               |             |                            |
| ●台湾カレーハウスレストラン株式会社             |             |                            |
| ●韓国カレーハウス株式会社                  |             |                            |

株主優待制度

6月・12月の年2回、下記の基準により当社グループの製品詰合せを「株主優待」として贈呈しております。

100株以上1,000株未満

[1,000円相当の詰合せ]



1,000株以上

[3,000円相当の詰合せ]



※写真は、2013年6月上旬に贈呈した株主優待製品です。

毎年3月末および9月末現在の株主名簿に単元株(100株)以上、かつ2回以上連続して記載された株主さまが対象となります。



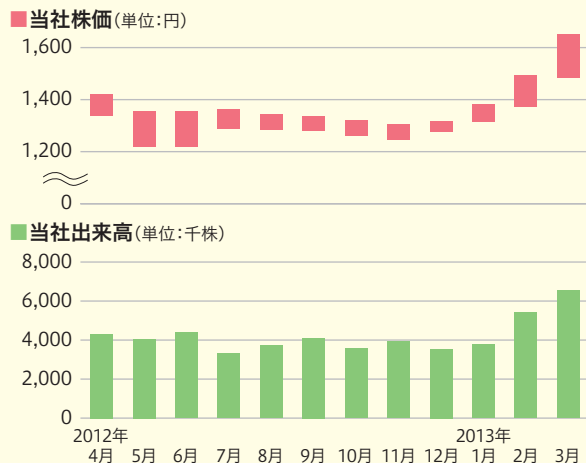
## 株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
- **中間配当制度** あり
- **定時株主総会** 毎年6月開催
- **株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関** 三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
- **株主名簿管理人事務取扱場所** 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
- **【郵便物送付先】** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- **【電話照会先】** ☎ **0120-782-031**
- **公告の方法** 電子公告により、当社ホームページ<http://housefoods.jp>に掲載して行います。  
ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- **上場証券取引所** 東京・大阪
- **証券コード** 2810
- **ハウス食品株主さま窓口** ハウス食品株式会社 総務・法務部 総務課  
〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
電話(06)6788-1214

### 持株会社体制への移行に伴うお知らせ

2013年10月1日付で持株会社体制へ移行することに伴い、商号を「ハウス食品グループ本社株式会社」へ変更いたしますが、株式の権利内容に変更はなく、株主さまによるお手続きは必要ございません。

## 株価・出来高の推移 〈東京証券取引所〉





## ハウス食品株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
電話(06)6788-1231 (大代表)  
<http://housefoods.jp>

## ○株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

口座の種類		証券会社の口座に 記録された株式	特別口座に記録された株式 (※)
お手続き内容			
○住所変更、単元未満 株式買取請求、配当金 の受領方法・振込先の ご変更などの各種手続		口座を開設されている 証券会社	三井住友信託銀行 証券代行部  0120-782-031
○郵送物の発送と返戻に 関するご照会		三井住友信託銀行 証券代行部  0120-782-031	
○支払期間経過後の 配当金に関するご照会			
○株式事務に関する 一般的なお問い合わせ			

※株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

## ○『復興特別所得税』に関するご案内

2013年1月1日より「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が施行され、**2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)に生じる所得には、その所得税額の2.1%が『復興特別所得税』として課税されることとなりました。**

株式等の配当金等も『復興特別所得税』の対象となり、源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税が併せて徴収されます。

## 〈上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について〉

配当等の支払開始日	2013年1月1日 ～2013年12月31日	2014年1月1日 ～2037年12月31日	2038年1月1日～
	<b>10.147%</b>	<b>20.315%</b>	<b>20%</b>
上場株式等の配当等の税率	内訳 所得税 <sup>(※1)</sup> +復興特別所得税 <sup>(※2)</sup> 7.147% 住民税 <sup>(※1)</sup> 3%	内訳 所得税 <sup>(※1)</sup> +復興特別所得税 <sup>(※3)</sup> 15.315% 住民税 5%	内訳 所得税 15% 住民税 5%

(※1) 上場株式等の配当等に係る所得税率・地方税率は、2013年12月31日までは租税特別措置法により所得税7%・住民税3%に軽減されています(本則：所得税15%・住民税5%)。

(※2) 当該期間の所得税率(軽減税率) 7%  
+ 復興特別所得税に係る追加分0.147% (7% × 復興特別所得税率2.1%)

(※3) 当該期間の所得税率(本則税率) 15%  
+ 復興特別所得税に係る追加分0.315% (15% × 復興特別所得税率2.1%)

(本ご案内は2013年5月時点の情報をもとに作成しています)

その他ご留意事項等については、所轄の税務署へご確認ください。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

